

## エントリーカード（企業用）

① 社名 (担当部署)	有限会社 井上商店			
② 連絡先	TEL	0799-45-0385	メール アドレス	menyainoue@gmail.com
③ 社会貢献 活動分野	社会教育			

### ④ 活動内容

兵庫県学校給食・食育支援センター様と連携し、平成 20 年から、兵庫県の小・中学校を対象に、生きる上で必ず必要な「衣食住」のうちの「食」を、「うどんが小麦粉から麺帯へ、そして麺へ」となっていく過程を、五感を通して体験する機会を提供。

尚、具体的には教育的工夫として、養護学校様から全学年の生徒さん達への依頼を受けることも多くあり、その場合は、生徒さん達の状況を事前にインターネットや先生方から情報を集め、特に「五感（香りや触感）」を意識し講習会をさせて頂いております。また、伸ばした際の厚さ・大きさや、麺を切る際の大きさが口での説明だけでは分かりにくいと思い、実際の模型をプラスチックで作成したものを、見本として生徒さんに見て触って頂き、「どれどれ??」「分かった!」という声を頂きながら、講習を進めております。また、年齢差がある中で行う場合は、生徒さんの力の程度に応じた講習が出来るよう心掛けています。（例）粉をこねる際、手でこねてもらうか、新聞紙等の上から足で踏んでもらう等。

ホーム  
ページ

<http://www.wakameya.jp/>

### ⑤ 社会貢献活動への思い

生きる上で必ず必要な「衣食住」のうちの「食」を、「うどんが粉から麺帯へ、そして麺へ」となっていく過程を目で見、手で感じ、鼻で香ってもらい、最後は口へ運んでもらう。そのような五感を通じた体験を通して、うどんに興味を持って頂くのは勿論、普段自分達が給食やスーパーで見えて買って食べている食材も、裏で下積みの作業を粉や魚から行われていること自体に興味・理解を持って頂けたら最高だと思い、活動を行っております。というのは、各学校を巡らせて頂き、校長先生や各先生から、「昔の学校に比べ、給食の際の残飯が増えている」と聞いたからです。子供達の「食自体」の関心の底上げに、うどん作りを通じて寄与できたらと思っております。

⑥ 効果、そして今後に向けて

数年間に渡った活動を、この度 2016 年 3 月に文部科学省主催「平成 27 年度青少年の体験活動推進企業表彰」の「審査委員会奨励賞（中小企業部門）」を受賞させて頂き、その表彰式後のセミナーで、学校の授業以外で子供達が体験する社会教育活動が、その後の子供達に大変大きな影響を及ぼす事等、活動の大切さも大変感じました。

今後は、「出前！うどん講習会」という 1 日で終わる講習を、1 年間を通して、プランを組み、小麦を種から播種、収穫(麦刈り)、製粉をする作業を子供達と共に、小さなスペースでも可能になれば良いなと思っております。